

**昭島市教育委員会テーマ**  
「楽しい学校づくり」

主な重点内容

- \*すすんで学ぶ子供の育成
- \*運動やスポーツが好きな子供の育成
- \*自分には良いところがあると  
感じる子供の育成

**教育ビジョン 自立と共生**

**学校教育目標 だれもが笑顔になる学校**

**目指す児童像・自ら学び、表現する子**

- ・認め合い、協力して行動する子
- ・すすんで体を整える子

**令和8年度の目指す児童の姿**

- ・自らすすんで挨拶し、感謝の  
気持ちをもち続ける姿
- ・自分の良さを実感し、自他の  
心の安全を守ろうとする姿
- ・対話を通して論理的に課題を  
解決しようとする姿
- ・学びの主体者としてチャレン  
ジしようとする姿

**つつじが丘小学校は  
楽しい学びの共同体**

**未来に向かってチャレンジできる学校**  
【確かな学力】【社会貢献力】【協働する力】

**学校を創る当事者意識**

- ・教員一人一人のマネジメント能力の向上  
→学校評価と連動した改善意識の向上
- ・持続可能な社会の実現に向けた教育推進→SDGs 教育
- ・特別支援教育を全校体制で推進  
→特支コーディネーターを軸とした杉の子学級・そよ  
かぜ教室との連携と組織的対応

- ・「なりたい自分」をサポートするキャリア教育の推進  
→幼保小中連携、キャリアパスポートの持続的活用
- ・未来を切り開く国際理解教育と外国語教育の推進

**持続可能な自己改善による教員の授業力向上**

- ・風通しの良い職員室と学びの共同体としての教員集団
- ・学習指導要領の本質を考えた授業改善→資質・能力
- ・「主体的・対話的で深い学びの実装」に向けた授業改善  
→学力調査の分析と授業改善推進プランの有効活用
- ・授業改善による思考の連続を促す学びの実現  
→授業のコーディネートと教師のファシリテート

- ・個別最適な学びによる個々の思考の共有  
→GIGA 端末の効果的な活用と ICT 機器の活用
- ・家庭学習の習慣化と自ら学ぼうとする力の育成

**児童の主体性・自己有用感を高める特別活動**

- ・合意形成や意思決定の力を育てる話し合い活動の充実  
→特別活動大人の10の流儀を意図した実践の継続
- ・児童の自治的活動を促す児童会活動やクラブ活動  
→児童が主体となる委員会、クラブ活動を継続
- ・異年齢集団の交流活動による社会性と所属意識の向上  
→縦割り班活動の意図的、計画的な実施による繋がり
- ・達成感や連帯感を育む学校行事の創造  
→児童会や実行委員会を中心とした児童主体の運営

**教員の働き方改革**

- ・優先順位を考えたタイムマネジメントによる校務改善
- ・教科担任制の導入に向けたチームとして対応する体制

**一人一人の居場所となる学校**

【豊かな心】【健やかな体】【学校・地域愛】

**組織で考え、組織で解決する協働体制**

- ・アンテナを高くもち、報告、連絡、相談による情報共有  
→職層によるラインの構築と学年会や部会での情報共有
- ・互いの違いを認め合い、尊重し合う人権教育の推進  
→人権教育プログラムの活用と理解教育の充実
- ・児童一人一人が安心して学び合える学級・学年づくり  
→Q-Uの活用による学級経営、昭島市 UD による教育
- ・いじめや差別を起こさない、心の安全を保障する指導体制  
→いじめ対策委員会での協議による未然防止、早期発見
- ・特別支援教育の充実と個別に支援の必要な児童の対応  
→校内委員会での協議、関係機関や専門機関との連携
- ・多面的、多角的に考え、自己を振り返る道徳教育の充実  
→道徳教育推進教師を中心とした指導計画、指導体制確立
- ・全職員での支援体制による安全な給食指導  
→生活指導全体会等によるアレルギー対応と感染防止

**自ら体を整える力の育成**

- ・自ら健康管理ができる児童の育成  
→「グッドモーニング60分」「元気アップガイドブック」
- ・児童の「からだ力」の向上  
→元気アップタイムの実施、体力調査に基づく授業改善
- ・心と体をコントロールできる姿勢と呼吸の指導
- ・生活習慣の見直しと健康な生活の推進  
→食育と健康教育の年間計画に基づいた実践

**保護者・地域とのつながりと連携を重視**

- ・コミュニティ・スクールの役割を理解した教育活動
- ・登下校の安全[地域学校共同本部の見守り、PTA との連携]
- ・安全教育[交通・生活・災害安全]
- ・地域人材の活用[指導計画とリンクした人材リストの活用]
- ・子供や保護者の心に寄り添う教育相談の実施[SC と連携]
- ・想定外の危機回避体制づくり[危機管理マニュアル]

**つつじが丘小学校を創る7つの視点**

- 1 教育が未来を拓くという思いをもつ
- 2 教職員が心を開く
- 3 児童や社会の役に立つ
- 4 当事者意識で学校づくり
- 5 組織で考え、組織で動く
- 6 保護者、地域とのつながりを大切に
- 7 心と体の健康管理を心がける

**「チームつつじが丘」は学びの共同体 ～風通しの良い職員室～**

- 相手を尊重する気持ちで良好なコミュニケーションに努める。
  - 挨拶は自分から。挨拶を交わし合う関係をつくる。
  - 困ったときはお互い様。相互依存できる関係をつくる。
  - 互いに声をかけ合えるオープンな関係でサービスを徹底する。
- 教職員、都事務、市事務、用務主事、栄養士、給食職員、学校管理員、講師、EA、専門員、介助員、ALT、支援員、SC、副校長補佐、SSS、SSW
- ・PTA、地域(地域学校協働本部、ウィズユース、自治会)との連携
  - ・関係諸機関(市教委、特別支援学校、子ども家庭支援センター、児童相談所、アキシマエンシス等)との連携